

# 目黒雅叙園

A WEDDING BANQUET PALACE & OFFICE TOWER

所在地／東京都目黒区下目黒1-8-1

建築主／合資会社雅叙園

設計者／株式会社日建設計

施工者／鹿島建設株式会社

竣工／1991年11月13日

Location／Meguro-ku, Tokyo

Owner／GAJOEN Co., Ltd.

Architect／Nikken Sekkei

Contractor／Kajima Corporation

Completion Date／November, 1991



全景俯瞰 Aerial view.





オフィス棟東の庭を見る Garden in front of the office wing.



日本庭園を中に引き込んだアトリウム内部 Japanese garden in the atrium.  
アトリウム南側壁面 South wall in the atrium.







4階和宴会場ロビー Banquet lobby on the fourth floor.



4階ロビー Lobby of the fourth floor.



バンケット・ホテル棟へのアプローチ Approach to the hotel wing.



客室 Guest room.



オフィス棟エントランスホール Entrance hall of the office wing.

#### 建築概要

敷地面積 29,801.2m<sup>2</sup>

建築面積 16,357.7m<sup>2</sup>

延床面積 133,625.8m<sup>2</sup>

構造 鉄筋コンクリート造  
鉄骨鉄筋コンクリート造  
鉄骨造

規模 バンケット・ホテル棟：地下2階 地上8階  
塔屋1階

オフィス棟：地下3階 地上19階 塔屋2階

工期 1989年1月～1991年10月

#### 仕上げ概要

##### ◆バンケット・ホテル棟

##### 外部仕上げ

屋根/アスファルト防水 押えコンクリート 外壁/磁器質タイル打込PC版 磁器質タイル 開口部/アルミサッシュ 一部ステンレスサッシュ

##### 内部仕上げ

[1階エントランスロビー] 床/花崗岩水磨き 一部カーペット 壁/腰部大理石水磨き PB EP 天井/PB FGボード EP [アトリウム]床/花崗岩水磨き 一部堅木フローリング 壁/大理石水磨き 鉄平石小端積 PB EP 天井/アルミサッシュ 透明合せガラス [宴会場・客室・客室廊

下] 床/カーペット 壁/PB クロス 天井/PB EP

##### ◆オフィス棟

##### 外部仕上げ

屋根/磁器質タイル打込PC版 アスファルト防水 押えコンクリート 本瓦葺 外壁/磁器質タイル打込PC版 花崗岩 押出しセメント成型板フッ素樹脂塗装 開口部/アルミサッシュ 一部ステンレスサッシュ 真鍮サッシュ

##### 内部仕上げ

[エントランスホール] 床/大理石水磨き 花崗岩水磨き 壁/大理石水磨き 花崗岩水磨き 一部スチールパネル焼付塗装 天井/スチールパネル焼付塗装 [基準階事務室] 床/タイルカーペット 壁/PB EP 天井/岩綿吸音板 システム天井

##### 設備概要

##### ◆バンケット・ホテル棟

空調 方式/個別空調単一ダクト方式 熱源/都市ガス ガス直焚二重効用吸収式冷温水機 空気熱源スクリュウヒートポンプチラー コ・ジェネレーションシステム

衛生 給水/上水+中水重力方式 給湯/コ・ジェネ排熱 冷温水機によるセントラル給湯 排水/屋内排水分流通式再利用装置

電気 受電方式/オフィス棟より6.6kV本線 予

備線方式 設備容量/高圧6,250kVA×15台 予備電源/自家発750kVA (非常用) 250kVA×2台 (常用)

防災 消火/スプリンクラー 補助散水栓 連結散水管 泡消火 ハロゲン消火 排煙/機械排煙 自然排煙

##### ◆オフィス棟

空調 方式/個別空調単一ダクト方式 (インテリア) ヒートポンプパッケージ個別ウォールスルー型 (ペリメータ) 熱源/都市ガス ガス直焚二重効用吸収式冷温水機 ターボ冷東機 水熱源ヒートポンプチラー

衛生 給水/上水+中水重力給水方式 (10～19階) 加圧ポンプ方式 (地下3～9階) 給湯/都市ガスによるセントラル給湯 電気湯沸器による局所給湯 排水/屋内排水 分流通式再利用装置 屋外排水 下水道放流式

電気 受電方式/22kV本線予備線方式 設備容量/高圧12,150kVA×37台 特高SF6ガス絶縁形5,000kVA×3台 契約電力：7,100kW 自家発補給電力400kW 予備電源 自家発1,500kVA (非常用)

防災 消火/屋内消火栓 連結送水管 スプリンクラー 泡消火 ハロゲン消火 排煙/機械排煙



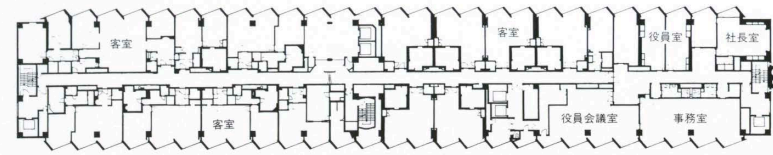
## 選評

REVIEW

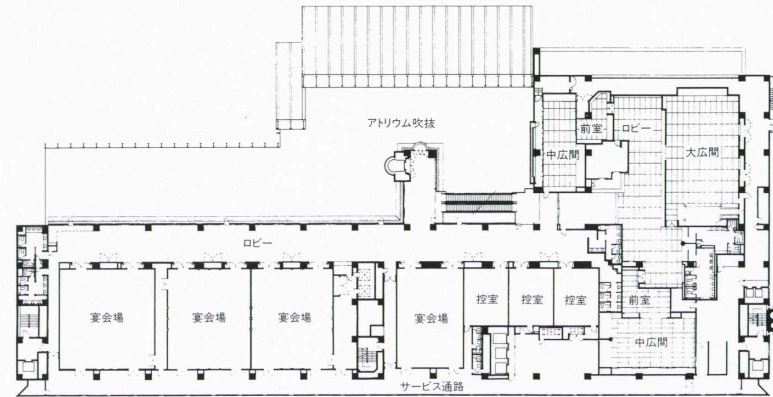
近江 栄 SAKAE OUMI

佐々木群 GUN SASAKI

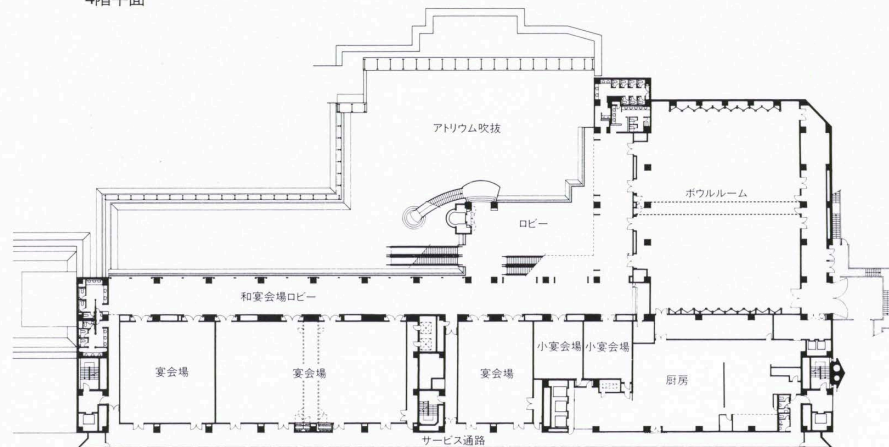
古田敏雄 TOSHIO FURUTA



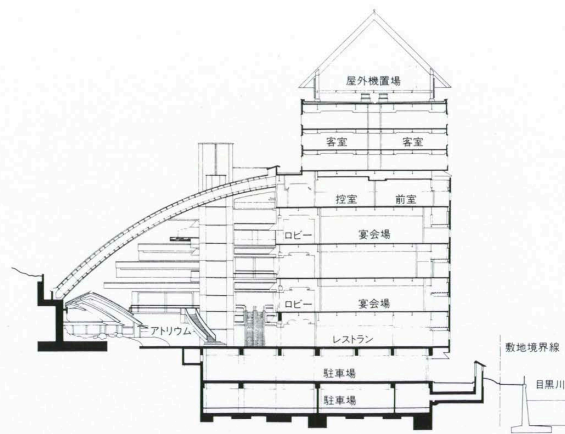
8階平面



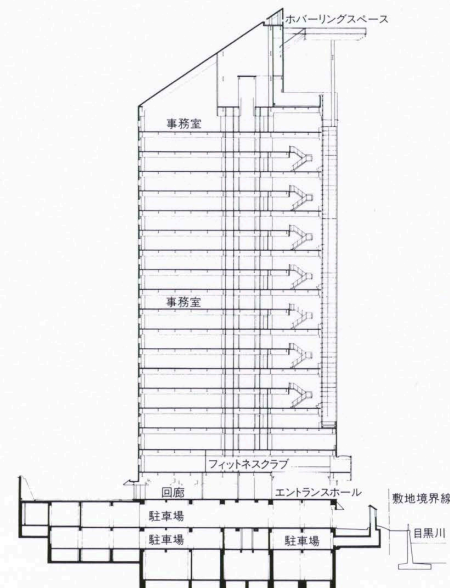
4階平面



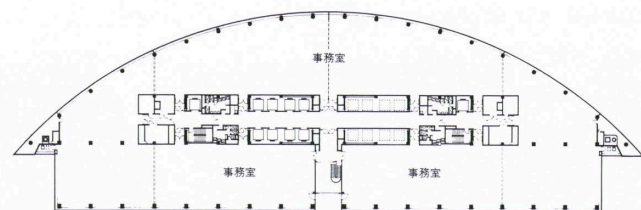
バンケット・ホテル棟2階平面 縮尺1/1,200



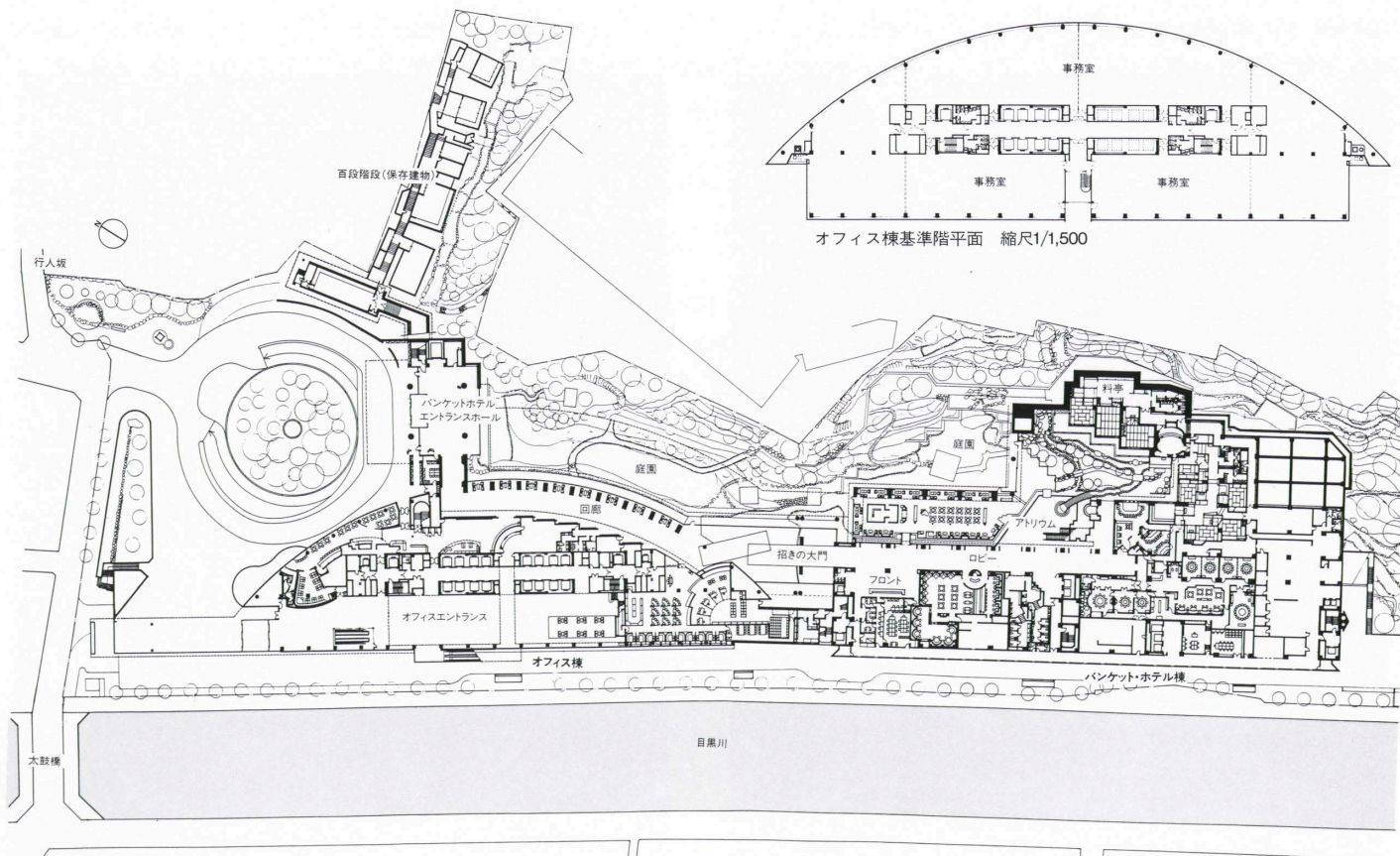
バンケット・ホテル棟断面 縮尺1/1,200



オフィス棟断面 縮尺1/1,500



オフィス棟基準階平面 縮尺1/1,500



全体配置・1階平面 縮尺1/1,800

本格的な日本料理と北京料理の料亭として、昭和6年、目黒雅叙園を開店した細川力蔵は日本画のパトロンでもあったという。

鎗木清方、伊東深水らの日本画や銘木・螺鈿や彫刻をあつめた、独特な室内装飾により、上流社会の人に限らず、家族連れなど一般社会に新しいサービスを提供し、「昭和時代」の東京名所となっていた。

今回の全面的な建て直しに際して、施主より求められた設計条件は、従来の婚礼、宴会を中心とした施設に加え、ホテルのみならずオフィス棟と美術館を含む複合施設として、経営の幅を広げることであった。

さらに現存する美術工芸品、部位部材は、できるだけ再利用または保存するという、きわめて困難な課題が付け加えられていた。

従来の「雅叙園」らしさを生かしながら現代に通用する複合施設とするために、設計者は独特の「和風」と「モダン」との混在併存を図り、新しい魅力を演出し成功している。

目黒川に沿った横に長い敷地に配置することで庭園を最大限に確保し、水を中心とした日本庭園のしつらえによって、バンケット・ホテル棟への長いアクセスを楽しく見せている。

庭園の一部のガラス屋根のアトリウムを中心に、料亭・レストラン宴会部門の各層からアトリウムを通して一体感が感じられるように構成されているのも好ましい。

また、オフィス棟は目黒駅周辺のランドマークとして、日影、電波障害への対応も考慮し、シンボリックな形態としながら圧迫感を避けている。

特に所蔵の木質系美術工芸品の保存および再生に関わる特殊な技術的・総合的な施工上の配慮は、建築主の美術工芸品に対する「思い入れ」に対応しており、新たな東京名所として複合施設をつくりあげている。

Rikizo Hosokawa, a patron of the Japanese style of painting, opened the first Gajoen, a combination traditional Japanese and Peking-style restaurant, in 1931. Because of the novel service it offered both upper and middle-class families alike, the Gajoen soon became one of the most popular attractions in Tokyo. Its distinctive interiors featured Mr. Hosokawa's collections of sculpture, mother-of-pearl inlay, and paintings by such artists as Kiyokata Kaburagi and Shinsui Ito.

On the occasion of this total rebuilding, the client stated his intention of expanding his business. His new requirements necessitated a whole complex including not only the usual facilities for weddings and banquets, but also a hotel combined with an office wing and art museum. He further stipulated that materials from the old building as well as surviving art and craft objects be saved and reused to the maximum extent.

In order to create a complex that, while acceptably up-to-date, preserves the feeling of the old Gajoen, the designer employed a hybridization of the traditional Japan and the modern to create something charming in a novel way.

Ample garden space was possible along the banks of the Megurogawa river, on which the long site is situated. A traditional Japanese-style garden featuring ponds and streams enhances the pleasant atmosphere of the extended approach to the hotel and banquet-hall wing.

Part of the garden is covered with a lofty glass roof. Restaurants and banquet rooms on several levels look down into this atrium-like space, which helps generate overall unity. Restrictions against blocking sunlight and interfering with radio waves helped determine the symbolic form of the office tower, which has become a landmark in the neighborhood of Meguro Station.

The special technological and general-construction measures adopted to preserve and recycle the client's collection of art and craft objects helped produce a complex that has already become a famous feature in the Tokyo scene.